

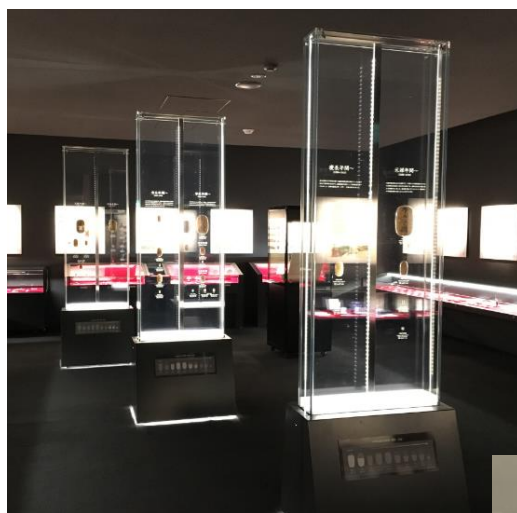
さいたま見学通信

さいたま支局のイベントや
工場・博物館の見どころ等をご紹介します



《博物館、庁舎・工場棟外観》

造幣局は、品質マネジメントシステムの国際規格「ISO9001」認証と環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」認証を取得しています。



《博物館入口》

造幣さいたま博物館は、
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一定のルールに基づいて開館しております。

ご理解とご協力をお願いいたします。

(詳細はHPでご確認ください。)



《博物館体験コーナー》

造幣局さいたま支局は、平成 28（2016）年 10 月に東京都豊島区からさいたま市に移転してまいりました。

当支局では、貨幣のほか勲章の製造を行っており、その様子を工場見学通路からご覧いただくことができます。

また、併設の博物館では、これまで発行された記念貨幣のほか、勲章、オリンピック入賞メダル、古銭など約 1,000 点を展示しております。

皆様のご来局をお待ちしております。

《目次》

- ・ [イベント案内](#)
- ・ [工場・博物館の見どころ紹介](#)
- ・ [トピックス](#)
- ・ [館内ミニショップのご案内](#)
- ・ [「令和 4 年桜のさんぽ道」の様子](#)
- ・ [「造幣さいたまサクスフェア 2019」をふり返って](#)
- ・ [出張講演等の実施について](#)



《博物館入口》

当博物館及び工場見学通路は、SIAA（抗菌製品技術協議会）認証の抗ウイルス抗菌コーティングを施しております。✦

イベント案内

◆工場見学ガイドツアー

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、工場見学を休止しておりましたが、令和4年5月16日（月曜日）から1日4回、1回当たりの見学人数を最大10名までとして再開します。

《予約制です》

実施日	月曜日～金曜日（博物館休館日（第3水曜日、年末年始、臨時休館日）、祝日を除きます。） ※業務の都合により見学できない場合があります。
見学開始時間	(1)9時30分 (2)10時30分 (3)13時30分 (4)14時30分
所要時間	約90分（ビデオ上映、工場・博物館見学）
予約受付開始日	見学日の2か月前の同日（同日が土日祝日及び年末年始の場合は、前営業日）より受付開始
申込先	Tel. 048-645-5899 (平日：9時00分～12時00分、12時45分～17時00分)

※ご希望の日時が既に予約で一杯の場合は、ご希望に添えない場合もありますので、ご了承のほどお願いいたします。

◆展示室ガイドツアー（現在休止中）

平成31年4月より、土・日曜日、祝日の休日開館時において、10時30分、13時30分及び15時に博物館展示室のガイドツアーを実施しています（予約の必要はありません。都合により開催しない場合もありますので、予めHPでご確認ください。）。

◆クイズラリー（現在休止中）

博物館では、土日祝日に小中学生を対象としてクイズラリーを行っています。参加される方は2階受付にてお申し込みください。参加された方には、お金について楽しくわかる小冊子「きらきらコインズ探検隊」をプレゼントしています。

工場・博物館の見どころ紹介

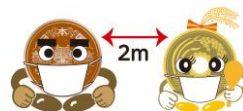
【工場 編】

工場は、自由に
ご覧いただけます。

《工場見学の様子》



ソーシャルディスタンスを守ってね



貨幣の製造

◆プルーフ貨幣の製造工程（バレル研磨）

プルーフ貨幣という、収集用の貨幣をご存知ですか？さいたま支局が主として製造している特別丁寧に造られる貨幣です。美しさの秘密は、美しい表面。こちらの研磨機で磨き上げ、鏡面のように仕上げます。



◆プルーフ貨幣の製造工程（圧印）



美しさの秘密のもうひとつは、丁寧な圧印作業。専用の圧印機で貨幣の模様を二回以上連続して圧印し、模様を鮮明に付けていきます。

高級感のある革ケースに入れたらできあがり！

その美しさを是非近くでご覧ください。

◆通常貨幣の製造工程

皆さんが普段お使いの貨幣がつくられる瞬間がご覧いただけます。

作業がない日もありますが、出来立てのお金がジャラジャラと落ちてくるところは見ごたえがありますよ！



勲章の製造

◆匠の技

造幣局では、勲章の製造を内閣府賞勲局より請け負っています。勲章製造作業を行うベテラン職員の「匠の技」。

一心不乱に素材に向かう職人の手元にご注目ください。

《七宝盛付け》

七宝が入る部分に「釉薬（ゆうやく）」を盛り付けます



瑞宝中綬章



旭日小綬章



《キサゲ作業》

やすりで仕上げた面を、人手でさらに精密に仕上げます



【博物館 編】



《博物館見学の様子》



《壁面ラックで貨幣セットを展示》

◆記念貨幣

これまで造幣局が製造した数々の記念貨幣を展示しています。

記念貨幣に注がれた技術の進歩をお楽しみください。

また、過去には埼玉ゆかりの記念貨幣も発行されています。是非一度ご覧になってください。



《地方自治法施行60周年記念千円銀貨幣ブロンズ貨幣セット(埼玉県)》



《さいたま支局で打初め式を行った「小笠原諸島復帰50周年記念千円銀貨幣」》

◆オリンピック入賞メダル《特別展コーナーにて展示中》

前回（昭和39年開催）の東京オリンピック入賞メダルをはじめ、日本で開催された過去大会の入賞メダルを展示しています。



《長野オリンピック冬季競技大会入賞メダル》

◆大判小判

博物館では、大判小判の表裏が見ることができるアクリルタワーケースで展示しております。江戸時代の息吹を感じてください。時価数千万円のお宝も！？



《アクリルタワーケースによる展示》



《慶長大判》

◆幻の貨幣

昭和7年銘の金貨は、金本位制最後の金貨。希少価値が高く、幻の金貨とされています。



《昭和7年銘20円金貨幣》

戦後末期、金属が不足しているときに造られた瀬戸物のお金、その名も「陶貨幣」。発行される前に戦争が終わったため、全て粉碎されました。まさに幻の貨幣。



《陶貨》

◆コイン君（貨幣測定装置）

お手持ちのお金の健康診断ができます。古くなって磨耗が進んだり、重量が足りなくなったりすると、「働きすぎです」と診断され、診断書が印刷されます。

現在流通しているお金で古いお金はあまりありませんが・・・古いお金を手に入れたらお試しになってみてはいかがでしょうか。

ディスプレイ画面で、造幣局のマスコットキャラクター達が貨幣の豆知識も教えてくれますよ！



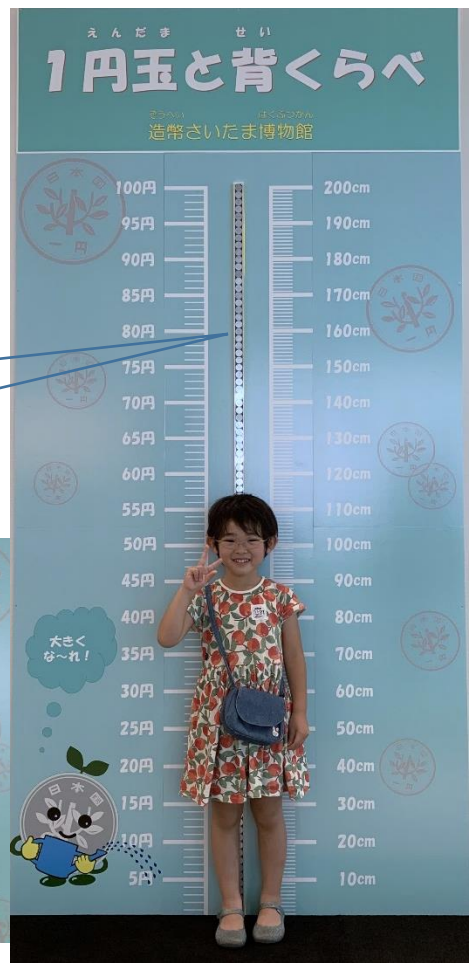
フォトスポット

◆3Dトリックアート
 おすすめ撮影スポット！
 館内で見ると平坦な図柄ですが、ご自身のスマートフォン等で撮影すると…
 不思議、不思議～！お金が飛び出してきます。
 いろんなポーズで撮影して、
 もっともっと楽しい写真をお楽しみください！



◆1円玉と背比べ
 おすすめ撮影スポット！
 1円玉の直径は2センチです。100枚（100円）で2メートルになります。
 さて、あなたの身長は“なん円”かな？
 「1円玉と背比べ」をしてみよう！

1円玉を100枚
 並べているよ。



トピックス

◆オンライン見学「おうちで見学！造幣局@さいたま」

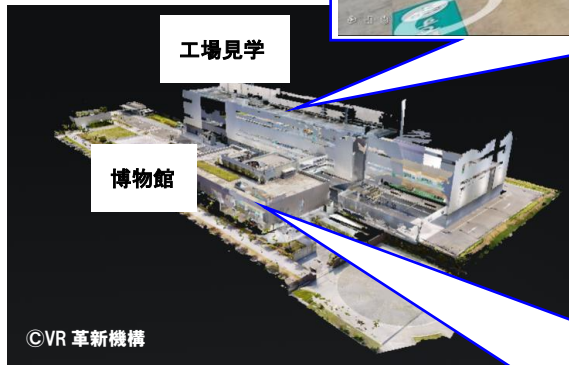
—公開は終了しました— 《R2.10.1～R2.12.31 の期間限定公開》

ご自宅から工場見学や造幣さいたま博物館をお楽しみいただけるよう、3DやVRの映像を活用したオンライン見学「おうちで見学！造幣局@さいたま」の公開を造幣局ホームページにて開始しました。

PCやスマートフォンで、工場見学や博物館の展示の様子が美しい3Dビューでご覧いただけます。VR専用ゴーグル・メガネがあれば、VR体験も楽しめます。



まるで工場見学をしているような気分が味わえます。



3D構造のドールハウスを表示させて、行きたいところをクリックすると、その中に入り込んで歩き回れます。



博物館では、記念貨幣や大判小判などの展示の様子をご覧ください。



◆造幣さいたま博物館ご来館 20 万人達成

造幣さいたま博物館は令和 2 年 1 月 20 日（月）、来館者 20 万人を達成しました。

20 万人目の来館者は、千葉県からお越しの小学 5 年生で、さいたま支局長から 20 万人目の認定証書と記念品をお贈りしました。

今後も造幣さいたま博物館は、大人も子供も楽しく学べる博物館として、スタッフ一同取り組んでいきますので、皆様ぜひご来館ください。



◆ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」を導入

令和 2 年 1 月 20 日から、スマートフォンアプリ「ポケット学芸員」による展示品の説明（英語、中国語、韓国語）を開始しました。

また、令和 3 年 3 月 29 日から日本語の説明もご覧いただけるようになりました。現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ガイドツアーを休止していますが、事前に無料アプリをダウンロードして、おうちで予習してからご来館いただいたり、博物館見学後の復習など空き時間の学習にもご活用いただけるようになりました。

（アプリのダウンロードやアプリ利用時の通信料は、利用者様のご負担となります。当館には無料 Wi-Fi は設置しておりませんので、事前にご自宅等でダウンロードのうえご利用いただくことをお勧めします。）

◆授乳室の設置

平成 30 年 12 月 19 日に皆様からのお声を元に授乳室を設置しました。赤ちゃん連れの方もお気軽に博物館へお越しください。埼玉県の赤ちゃんの駅としても登録しており、オムツ交換台も用意しております。

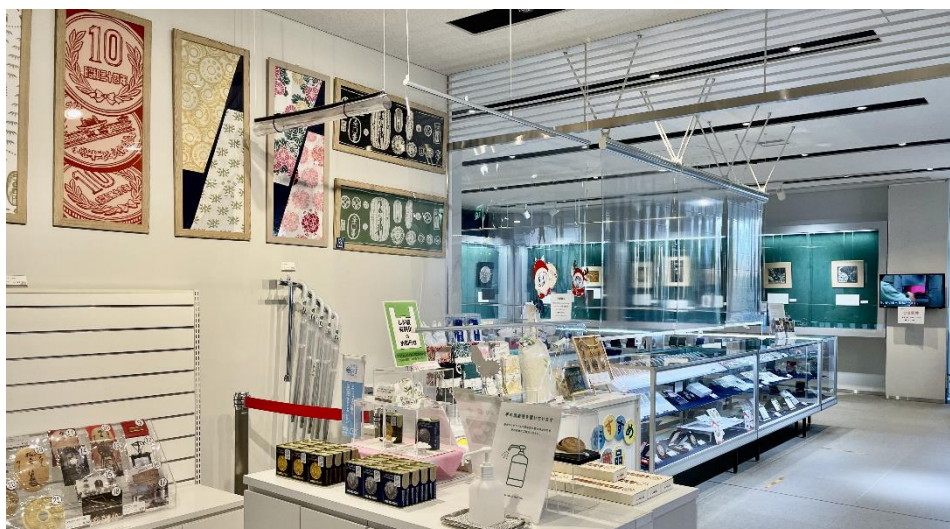


◆土日祝日も観光バスやお身体の不自由な方には駐車スペースを用意

平成 30 年 12 月 8 日より、土日祝日も観光バスやお身体の不自由な方には駐車スペースを用意しております（博物館開館日に限ります。）。駐車台数に限りがございますので、事前にご相談ください。

館内ミントショップのご案内

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一定のルールに基づいて営業しております。
(詳細はHPでご確認ください。)



広く造幣事業の周知宣伝を行うとともに、造幣局が製造した金属工芸品や貨幣セットの展示・販売を行うことを目的として、ミントショップを博物館内に開設しています。

ミントショップでは、貨幣セットや金属工芸品のほか、貨幣をモチーフにした手ぬぐいや絵葉書、菓子類など造幣局に関連したミュージアムグッズも販売しております。

◆各種貨幣セット販売中！

500円から1円までの6貨種をケースに収納した貨幣セットを販売しています。(写真は改鑄後)



《令和3年銘、4年銘ミントセット》

【販売価格：3年銘 改鑄前 2,037円(税込)
3年銘 改鑄後 2,100円(税込)
4年銘 改鑄後 2,100円(税込)】



《令和4年銘記念日貨幣セット》

【販売価格：改鑄後 2,800円(税込)】

new ◆見学記念プルーフメダルの販売開始（さいたま支局限定販売）

令和4年4月5日より、さいたま支局の工場や博物館をご見学いただいた記念として、さいたま支局で製造した見学記念プルーフメダルの販売を開始します。さいたま支局のミントショップ限定品です。

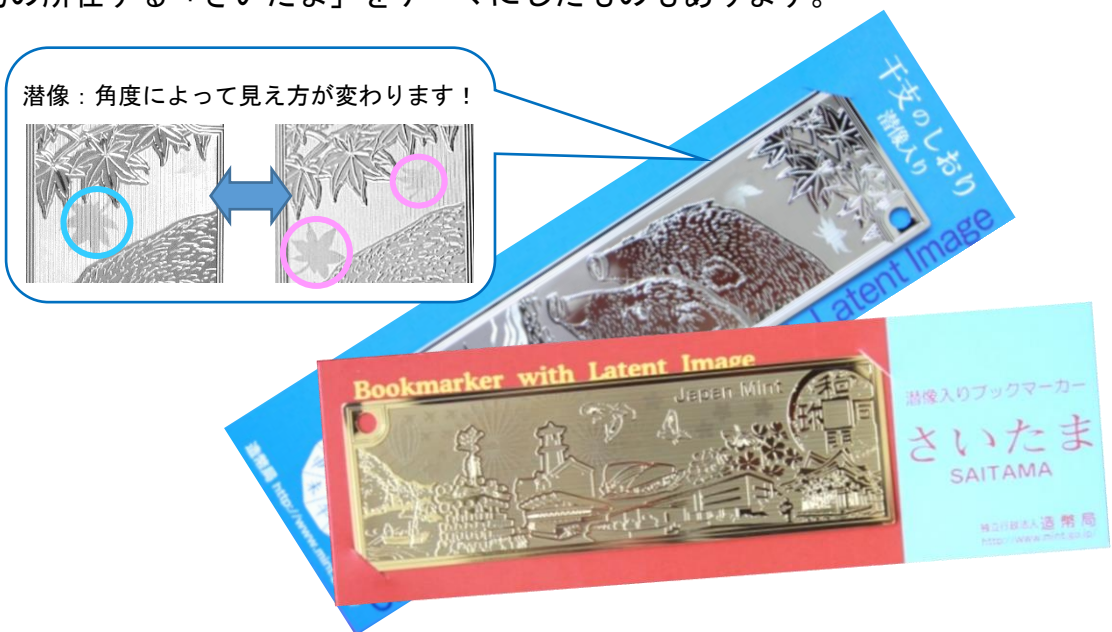
表面は、桜と造幣局・JAPAN MINTの文字、裏面は、通常貨幣6貨種の模様を配置したデザインとなっており、表面には500円の偽造防止技術である潜像加工が施されたプルーフ仕様のメダルです。



※ 台紙に入れて販売 【販売価格：1,500円（税込）】

◆潜像入りブックマーカー

500円貨幣にも使用されている偽造防止技術・潜像加工を施した造幣局オリジナルのブックマーカー（しおり）です。十二支をテーマにしたものや、当支局の所在する「さいたま」をテーマにしたものもあります。



【販売価格：金メッキ 1,300円、ニッケルメッキ 700円（いずれも税込）】

「令和4年 桜のさんぽ道」の様子

造幣局（本局・大阪）の「桜の通り抜け」は全国的に有名ですが、さいたま支局にも小規模ながら博物館横の通路に、23品種100本の桜が植えられています。造幣局創業150周年及びさいたま支局開局5周年を迎えた令和3年、この桜並木を『桜のさんぽ道』と名付けて一般開放を行いました。

2回目の一般開放となる今年は、4月5日（火）～17日（日）の13日間において日頃から造幣局の事業にご理解をいただいている皆様に当局の桜に親しんでいただくとともに、期間中には、工場見学や博物館をお楽しみいただくイベントも開催しました。

開門時には連日、複数人のお客様が待機され、朝一番の桜のさんぽ道を満喫されるなど、昨年実績（1週間で約1,000人）から推測していた予想を遥かに上回り、11,000人を超える方にご入場いただき、早咲きから遅咲きまで順次見頃を迎える桜をお楽しみいただいた13日間でした。

まだまだ育ち盛りの桜のさんぽ道。今後の成長が楽しみです！



子供たちには
クイズラリー！



休日工場見学：4/9（土）、4/10（日）開催

コインくんと写真撮影
4/11（月）～4/13（水）開催



桜の
さんぽ道



（令和4年4月12日撮影）

ライトアップで夜桜も



（令和4年4月5日撮影）

「造幣さいたまサクスフェア2019」をふり返って



令和元年10月19日(土)、20日(日)の2日間、日頃から造幣局の事業にご理解をいただいている地域の皆様に感謝の意を込めて、『造幣さいたまサクスフェア2019』を開催しました。

オープニングセレモニーには150名程のお客様が並ばれるなど、2日間で入場者数は2,550名となり、昨年度を約300名上回る盛況となりました。

今後も、役職員一丸となって、地域に根差し、愛されるさいたま支局になるよう努めていきたいと思っております。



キャラクターも参加

つなが竜ヌウくんもコインくんと一緒にフェアに参加してくれました

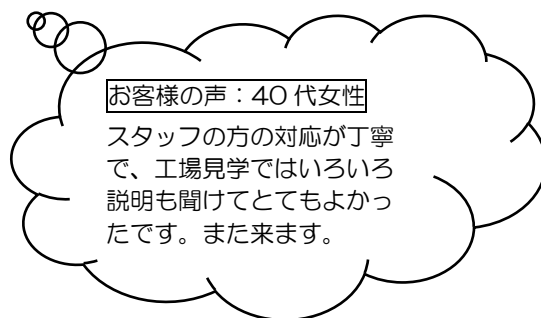
【工場見学】

普段休日にはご覧いただけない貨幣工場及び勲章工場の見学通路に、貨幣・勲章製造業務に携わる職員を配置し、お客様への説明を行いました。

お客様からは、『できたばかりの令和元年銘の貨幣や勲章はとてもきれいで、一つ一つこんなに丁寧に作業しているということに驚いた。』、『実際に作業に携わっている職員の皆さんから説明をしてもらったことで、作業の内容だけでなく、仕事への熱い思いが伝わってきました。』、という声が聞かれました。



製造業務担当職員が、フェアでは見学通路で説明を担当



【特別展「皇室関係 記念貨幣・メダル展」】

10月22日（火・祝）の天皇陛下の即位礼正殿の儀に合わせて皇室関係の記念貨幣やメダルを中心に、皇族の方々が造幣局をご視察された際のお写真を展示しました。

また、宮内庁からも写真の提供をいただき、記念貨幣を発行した皇族の方々の御結婚や御即位の際のご様子も紹介することができたことで、華やかな展示となりました。



サブタイトルは
~新しい時代「令和」へ~

【キッズアカデミー】

子供を対象としたお金に関するミニ講座として「キッズアカデミー」を開催しました。今回、初の試みとして、国立印刷局とコラボし、お金の役割や偽造防止技術、ユニバーサルデザインなどについて、楽しく分かりやすく解説しました。



国立印刷局とのコラボで
人気もアップ

【体験イベント】

七宝体験コーナーと、貨幣デザイングッズ制作コーナーを設けました。

毎回人気の七宝体験は、2日間で400名のお客様にご参加いただきました。実際に勲章を製造している職員が指導しているということを説明すると、皆さん大変驚かれていました。

また、貨幣デザイングッズ制作では、缶バッジやマグネット、栓抜き型キーホルダーの3種類を用意しましたが、「すぐに参加できる」、「ワンコイン（100円）でできる」という手軽さが人気で、2日間で758個の体験をしていただきました。



今年もたくさんの方に体験を
楽しんでいただきました

お客様の声：10代男性

初めて七宝体験をして、とてもうまくできたのでよかったです。もう1回行きたくなりました。

【各種業務紹介】

品位証明業務紹介では、指環などの貴金属製品の洗浄サービスを行い、お待ちいただいている間にホールマーク制度を説明するなど、お客様に興味を持っていただけるよう工夫して周知活動を行いました。

また、今年は新たに貨幣の原型制作工程を紹介しました。粘土原型や石膏原型のほか、その制作に使用する道具を展示したところ、お客様からは「貨幣がどのようにして造られるのかが理解できた。」、「貨幣のデザイン性の高さが良く分かった。」などの声が聞かれました。



貨幣のデザインを担当する職員
が原型制作工程を紹介

お客様の声：30代女性

職員の方がいろいろな質問
に快く答えてくださって嬉
しかったです。ありがとう
ございました。

出張講演等の実施について

【出張ミニ講座（さいたま市立針ヶ谷小学校）】

令和3年10月27日（水）、さいたま市立針ヶ谷小学校からご依頼をいただき、お金にまつわるミニ講座を開催しました。貨幣のデザインにまつわる説明や、貨幣の偽造防止技術の紹介などをクイズを交えて楽しく学んでいただき、講座後には児童の皆さんから、たくさんの質問を受けました。

初めて取組んだ小学校へのお出張講座は、貨幣への理解を深めていただく良い機会となりました。



【出張講演（与野郷土資料館）】

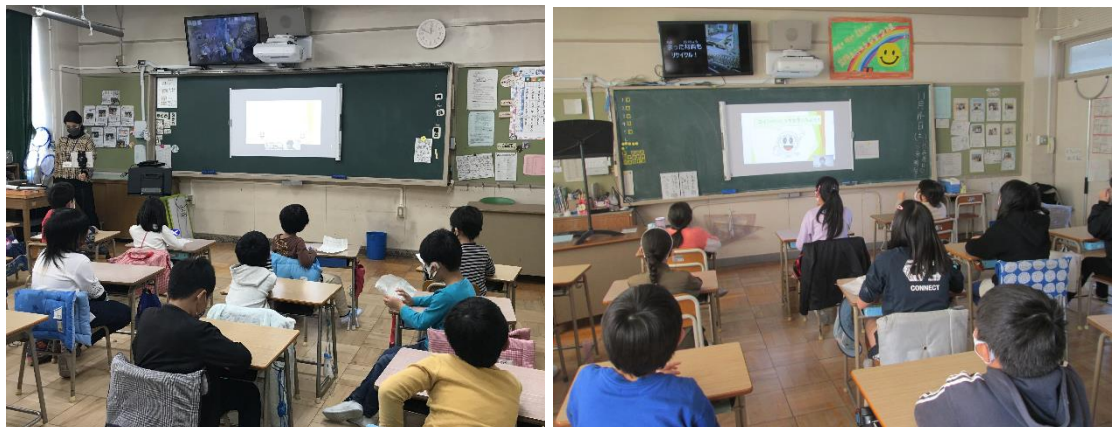
令和3年4月24日（土）、さいたま市立博物館分館の与野郷土資料館からご依頼をいただき、『日本の貨幣の歴史』と『造幣局の誕生』と題した講演を行いました。さいたま市で出土した「和同開珎」と「延喜通宝」の同資料館における展示に関連して企画された講座で、参加者は説明内容をメモに取るなど熱心に聴講され、終了後にも質問が相次いで、参加者のみなさんの貨幣に対する関心の高さが伺える楽しい講座となりました。



【「ミラとびランド 2020」（オンライン講座）への参加】

令和2年11月14日（土）、名古屋市立矢田小学校からご依頼をいただき、「ミラとびランド 2020」のオンライン講座に参加しました。

低学年と高学年に分かれて、「コインのひみつ!」と題したミニ講座を開催し、貨幣のデザインにまつわる説明や、貨幣の偽造防止技術の紹介などを、クイズを交えて楽しく学んでいただきました。また、新5百円貨幣などについて説明を行い、貨幣に対する理解を深めていただきました。



【親子向け講座「弘前忍者とおかねの歴史」への参加】

令和2年9月27日（日）、青森県弘前市で開催された親子向け講座「弘前忍者とおかねの歴史（共催：東北財務局青森財務事務所、青森大学）」に参加しました。

「日本のおかねの歴史を学ぼう!」と題した親子向け講座では、弘前の忍者が活躍した時代の貨幣制度などを紹介しながら、現行の貨幣の偽造防止技術や来年発行される新しい5百円貨幣などについて説明を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者との距離を保ちながらの講座となりましたが、親子で楽しく学んでいただきました。



【冬休み特別企画「親子教室 i n ののいち」への参加】

令和元年12月26日（木）、北陸財務局と野々市市が主催する、子供を対象とした特別企画「親子教室 i n ののいち」に参加しました。

この企画は、小学3～6年生の児童とその保護者を対象に、「お金にまつわるミニ講座」や「貨幣当てゲーム」などを通じてお金に親しみ、お金の大切さなどを子供たちに学んでいただくことを目的に開催されたもので、当日は午前、午後の2回、親子合わせて78人に参加していただき、プログラムを楽しんでいただきました。



【こども霞が関見学デー】

令和元年8月7日（水）・8日（木）の2日間、「こども霞が関見学デー」が開催されました。これは、各府省庁等が連携して、業務説明や見学などを行うことにより、親子の触れ合いを深め、広く社会を知る体験活動の機会とすることを目的としています。造幣局からは、さいたま支局内において、工場・博物館見学、古銭に触れる体験や缶バッジ制作体験を行ったほか、財務省内の会場においては、オリンピック記念貨幣、キャラクタープルーフ貨幣セットの展示や、貨幣袋の重さ体験コーナーを設けて、たくさんの親子に楽しんでいただきました。



【大宮区ミュージアム特別展示】

令和元年8月5日（月）から30日（金）までの期間、大宮区役所庁舎内において、市内の施設（さいたま市宇宙劇場、市立博物館、造幣さいたま博物館、大宮図書館）による特別展示が開催されました。造幣局からは、貨幣の偽造防止や豆知識のほか、博物館の紹介についての展示を行いました。



【りそなキッズマネーアカデミー】

令和元年7月26日（金）、埼玉りそな銀行さいたま新都心支店が主催する「りそなキッズマネーアカデミー」がさいたま支局で開催されました。このアカデミーは、クイズなどを交えて、お金の役割や働くことの大切さを楽しく学んでいただく教室です。造幣局からは、普段何気なく使っているお金のあれこれについて学んでもらうため、工場・博物館の見学ツアーを行いました。

